

中東知的財産ニュースレター Vol. 67

◆ 目次

1. 主要トピック

UAE

- ・ 特許および意匠に関する文書の形式要件の緩和

サウジアラビア

- ・ 2022 年上半期に関する SAIP の報告書

エジプト

- ・ 国家知的財産戦略

2. 他のトピック

トピック多数のため、文末参照。

1. 主要トピック

UAE

・特許および意匠に関する文書の形式要件の緩和

経済省は 2022 年 9 月 13 日付で e メールによる通達を発行し、特許および意匠に関する委任状について、以下のような新たな法定要件を発表した。

委任状 (POA ; Power of Attorney) の要件：委任状は、UAE または外国において、公証人により認証されるものとする。UAE の公的機関 (行政機関、国立大学等) の印章は、公証と同等の効果を有するものと見なされる。

譲渡証書 (DOA ; Deed of Assignment) の要件：発明者が*UAE の会社の従業員である場合、その会社は譲渡証書に代えて雇用証明書または雇用契約書の写しを提出することができる。UAE の知的財産法の下では、従業員の発明は自動的に雇用主に譲渡されるからである。

設立証明書 (COI ; Certificate of Incorporation) の要件：設立証明書は、UAE または外国において、公証人により認証されるものとする。UAE の行政機関が設立証明書を発行する場合 (経済開発省 (DED) が発行する営業ライセンスなど)、公証は不要である。

UAE の公的機関 (行政機関、国立大学等) の印章は、公証と同等の効果を有するものと見なされる。

サウジアラビア

・2022 年上半期に関する SAIP の報告書

SAIP (サウジアラビア知的財産総局) は、2022 年の知的財産情報に関する半期に 1 度の報告書が発行されたことを発表した。この報告書が示すところによれば、西暦 2022 年の上半期にサウジアラビアで提出された特許出願の件数は前年同時期に比べて 37% 増えており、著作物の任意登録申請の件数は 26% の伸びを見せており、商標出願の件数は 18,965 件で 1% 増となっている。他方、意匠登録出願の件数は 661 件に達しているが前年同時期と比較して 8% 減少している¹。

SAIP はさらに、2022 年上半期に実施された調査活動の件数を公表している²。それによれば、組織的な調査キャンペーンの間に押収された知的財産侵害品の数は 500 万点を上回っている。この報告書の記述によれば、知的財産権の執行を目的とした訪問調査の実施回数は 5,000 回を超えており、これら訪問調査のうち 869 回は、一般客を装って店舗を訪れ、ひそかに調査を行うという覆面調査によって実施されている。

電子媒体の調査に関して言えば、3,036 のウェブサイトおよびコンテンツが知的財産侵害を理由として削除されたことが報告書に示されている。

¹ <https://www.saip.gov.sa/en/news/1360/>

² <https://www.saip.gov.sa/en/news/1349/>

この報告書には、他の管轄当局と協力して知的財産権の保護とエンフォースメントに励んでいる SAIP の活動状況が反映されている。

エジプト

・国家知的財産戦略³

2022年9月21日、エジプトは同国のアッ＝シーシー大統領臨席の下に開催された公式祝典の場で「国家知的財産戦略」(National Strategy for Intellectual Property)を発表し、モスタファア・マドブリー首相の立ち合いの下、この戦略は発足した。この発表の場には、世界知的所有権機関(WIPO)のダレン・タン事務局長が同席していた⁴。

同戦略の実施期間は2022年から2027年までの5年間で、戦略の骨子をなすのは以下のような原則である。

- 知的財産の尊重
- 機会均等、社会的公正および透明性に関する基準の遵守
- 競争の支援および独占的な商慣行の阻止
- 思想および意見の自由と、美術的および文学的な創作活動の権利の保証および強化；才能開発；技術革新および科学研究の奨励；自国の研究施設の支援と開発；研究者および発明者の育成；国民が獲得した権利の保護。
- さまざまな分野における創造性、イノベーションおよび投資を鼓舞するための排他的権利の付与と、生活の諸側面における一般的な社会利益の実現という2つの課題の間で、最適なバランスを実現すること。
- 知的財産権の保護を所管する当局として今後設立される機関におけるガバナンスおよび組織的活動の強化。
- 権限と責任との相関関係。国家機関は戦略の実現を目指して各自の職務遂行につき責任を負い、その実効性を保証するものと見なされる。

今回の戦略は知的財産に関係する諸々の権利の現状を反映したものである。その現状にはいくつかの弱点(SWOT分析など)が見受けられる。すなわち、専門知識や成熟した人材が欠けていることや、科学と産業研究の間に統合性が欠けていることである。同様に、専ら国家が所有する知財資産のみを集結させるための包括的なプールが欠けていることが挙げられている。

特許について言えば、上述したような弱点はエジプトの特許出願件数に関する2021年の統計から見て取ることができる。この統計によれば出願の総件数は2,225件で、そのうち881件は居住者(エジプト国民)、1344件は非居住者(外国人)による出願である。2021年にエジプト国民が申

³ [Footnote 3.pdf \(jetro.go.jp\)](#)

⁴ <https://sis.gov.eg/Story/171524/PM-Launching-National-Strategy-for-Intellectual-Property-first-step-of-its-kind-in-Egypt?lang=en-us>

請した特許出願の件数は総出願数の 39%に過ぎないことが、報告書に示されている。しかも、出願人のほとんど(85%)が企業であるにも関わらず、そこに含まれるエジプト企業の数はごく僅かである。⁵

実用新案について言えば、知的財産法(2002年法律第82号)は、必ずしも技術的に高度でない発明(小発明)を保護するために実用新案権を規定している。実用新案の場合、特許よりも少ない条件と少額の費用で容易に権利を取得できると考えられている。ところが、エジプトにおける実用新案の出願件数はごく限られている。この種の知的財産権の存在を知っておくことは、特に自然人の出願人や中小企業にとって重要である。

最新の統計を見ると、エジプトでは商標、意匠、植物品種の出願が占める割合が過去3年間で顕著に増加していることがわかる。

新たな国家戦略の戦略目標には、主として以下の4つの要素が含まれている。

1) **知的財産に関わる組織構造のガバナンス**：この要素は、エジプト全土の知財部門および知財当局の活動(大学や研究機関における活動を含む)を調整すると同時に、デジタル化の支援や知的財産権行使の推進を実行する国家的な知的財産機関の設立を通じて実現される。

重要な事実を強調しておけば、エジプト憲法に定められた立法機関はすでに状況を理解しており、エジプト憲法第69条に従って監督官庁の設立を決定している。新たに設立される監督官庁は、知的財産制度の諸要素の調和と統合を実現するため、知的財産権の発展を促し、それら権利の法的保護を保証するとともに、知的財産の分野における国家の先兵となる。

2) **知的財産のための法的環境の形成**：この要素は、知的財産制度に関する差し迫った基本的問題の解決を図ることにより短期的な介入を行う「緊急段階」と、知的財産関連の法律全般の総合的な見直しを含む中期的な介入を通じて実現される。

3) **持続可能な開発目標の達成過程における知的財産の経済的利益の最適化**：この要素は、最新の国際標準に従って知財資産の金銭的評価を行った上で知財資産の商業利用を奨励し、科学研究において知的財産を最大限に活用し、知的財産を国内産業のニーズと結びつけ、公衆衛生や医薬品提供の分野で合理的でバランスのとれた知財政策を実施し、中小企業の経済価値を最大限に高め、観光・歴史遺産セクターの経済的利益を最大化し、生物資源に関する伝統的知識へのアクセスを規制し、そこから発生する利益を適正に分配することを通じて実現される。

⁵ [Footnote 5.pdf \(jetro.go.jp\)](#)

4) エジプト社会に向けた知的財産に関する啓発活動：この要素は、知的財産および国家の知的財産政策の主要な構成要素に対する知識を普及させ、公衆の啓発を推進し、科学研究において知的財産を最大限に活用し、創造性・イノベーション・知的財産という概念を高校までの教育課程に統合させるとともに、大学や研究機関において知的財産に関する啓発活動を推進し、学生や研究者を対象として知的財産創造の動機付けを行うことによって実現される。

さらに、今回発表された戦略は、フォローアップや評価のための制度的な暫定枠組みを定めている。また、この戦略は2段階に分かれている。閣僚評議会は今後、国家戦略の実施に関する様々な国家機関や部門の取組をフォローアップすることになる。

国家戦略の発足というイベントの重要性に鑑み、戦略立ち上げの式典には10名を超えるエジプト政府の閣僚が出席した。さらに、各国の大使、国連諸機関および国際団体の代表、エジプトの知財管理行政を担当する国家機関の職員、教育・起業・テクノロジー・クリエイティブ経済の分野に従事する国内の重要人物といった来賓たちも式典に参加している。

2. 他のトピック

UAE

・ハブとスパイスの供給拠点となる国際的なハブとしてドバイが浮上。しかし、偽物やまがい物のサフランを売りつける暴力団や悪徳業者も暗躍（2022年8月30日）

<https://www.khaleejtimes.com/spotlight/the-rise-of-the-red-gold-how-dubai-emerged-as-a-global-hub-for-saffron>

・ドバイ電力水道公社（DEWA）がエネルギー供給網の主導権拡大を目指してリスクコントロール・マネジメント（RCM）を実施し、「ケーブルのライフサイクルと経年劣化」に関するプロジェクトで特許を取得（2022年8月31日）

<https://wam.ae/en/details/1395303079200>

・DEWAの研究開発センターが6件目の特許を取得。特許発明は太陽光パネルの輸送に使用されるユーザーフレンドリーなロボット輸送装置（2022年9月2日）

<https://wam.ae/en/details/1395303079910>

・国連貿易開発会議（UNCTAD）が模倣医薬品売買に関わる違法取引の取締り強化を目指して2度目のフォーラムを開催（2022年9月3日）

<https://wam.ae/en/details/1395303080059>

・スペインのプロサッカーリーグ LaLiga と e スポーツ事業者の Galaxy Racer が数十億ドルの権利が絡んだ協定に署名。合意内容には知的財産の共有に関する革新的な手法も含まれる (2022 年 9 月 6 日、2022 年 9 月 7 日)

<https://www.arabnews.com/node/2157891/sport>

<https://www.khaleejtimes.com/business/laliga-galaxy-racer-sign-jv-to-transform-sports-media-in-mena-india-subcontinent>

・アブダビのハリーフア大学 (Khalifa University) が「タイムズ高等教育デジタル大学 MENA 2022」を共催。学術研究と知的財産創造の推進を強調 (2022 年 9 月 8 日)

<https://wam.ae/en/details/1395303081800>

・ヨルダンのポッドキャスト配信業者 Sowt が、ドバイに拠点を置く電気通信事業者 Finyal Media の買収を発表。買収の狙いは Sowt の知的財産の強化、視聴者数の増加、取引機会の拡大を実質的に推進すること (2022 年 9 月 12 日)

<https://www.arabnews.com/node/2161066/media>

・UAE 経済省と Flat6labs が世界中の中小企業の振興に向けた新構想を発表 (2022 年 9 月 14 日)

<https://wam.ae/en/details/1395303083286>

・Netflix が社内知的財産の価値の最大化を目指してマルチプラットフォーム計画をステップアップ (2022 年 9 月 14 日)

<https://www.arabnews.com/node/2162091/media>

・ドバイ税関が FIFA とともに知的財産を評価 (2022 年 9 月 14 日)

<https://wam.ae/en/details/1395303083484>

<https://www.facebook.com/photo/?fbid=457856676372160&set=a.292083236282839>

・Freshcraft 社がインドアライフの安全強化のための革新的なガジェットをドバイで発売し、自社の技術および意匠について意匠特許を出願 (2022 年 9 月 15 日)

<https://www.khaleejtimes.com/kt-network/freshcraft-launches-innovative-gadget-for-safer-indoors-in-dubai>

- ・ UAE 司法省がデジタル版の委任状発行サービスを開始 (2022 年 9 月 15 日)

<https://www.moj.gov.ae/en/media-center/news/15/9/2022/ministry-of-justice-launches-digital-power-of-attorney-issuance-service.aspx>

- ・ 著作権取扱業者に関する新たな決定が政府当局から発表された。創作者の知的資本を侵害や無許諾使用から保護するため (2022 年 9 月 18 日)

<https://www.khaleejtimes.com/uae/uae-new-award-for-publishing-rights-professionals-announced-by-govt-authority>

- ・ アブダビ警察による発明が国際的な注目を浴びる (2022 年 9 月 20 日)

<https://www.khaleejtimes.com/uae/smart-swabs-mobile-alarms-for-fires-inventions-by-abu-dhabi-police-receive-international-recognition>

- ・ 2021 年に付与された米国特許件数の世界ランキングで UAE 大学が 90 位にランクイン (2022 年 9 月 20 日)

<https://wam.ae/en/details/1395303084947>

- ・ UAE の新たな著作権法は世界屈指の厳格な法となる (2022 年 9 月 21 日)

<https://gulfnews.com/business/markets/new-uae-copyright-law-is-one-of-the-toughest-in-the-world-1.90733207>

- ・ UAE 産業先端技術省 (MoIAT) とヨルダン規格・度量衡庁が、規格の分野における知的財産権および専門知識の保護を目指して連携を強化 (2022 年 9 月 22 日)

<https://wam.ae/en/details/1395303085783>

サウジアラビア

- ・ WIPO 本部で開催された執行諮問委員会 (Advisory Committee on Enforcement) の第 15 回会議に SAIP が参加 (2022 年 9 月 1 日)

<https://www.saip.gov.sa/en/news/1341>

<https://twitter.com/SAIPspokesman/status/1565439821677477895>

<https://twitter.com/SAIPKSA/status/1565440092256321537>

- ・ 2021 年の特許登録件数で上位 100 位までに入る世界の大学の中にサウジアラビアの 4 つの大学がランクイン (2022 年 9 月 8 日)

<https://www.saip.gov.sa/en/news/1341>

<https://twitter.com/SAIPspokesman/status/1565439821677477895>

<https://twitter.com/SAIPKSA/status/1565440092256321537>

・サウジ政府当局は米国の企業関係者と対等な立場でのミーティングを実施し、サウジアラビアのビジネス環境の目覚ましい発展に関する声明を発表した（2022年9月9日）

<https://twitter.com/KSANCC/status/1567939621442523136>

・SAIPの執行委員会が会合を実施し、国際水準に従って当局の活動の見直しを行った（2022年9月14日、2022年9月15日）

<https://twitter.com/SaudiEmbassyUSA/status/1570091811930095616>

<https://www.saip.gov.sa/en/news/1348>

・SAIPが2022年上半期の調査件数を発表（2022年9月17日）

<https://www.saip.gov.sa/news/1349>

<https://twitter.com/SAIPspokesman/status/1571152381026639875/photo/1>

<https://twitter.com/SAIPKSA/status/1571143440389533697>

<https://twitter.com/SAIPKSA/status/1571142701072125952/photo/1>

・サウジ国立衛生研究所のCEOを務める Fars bin Kaed Alanazi 氏の来歴（2022年9月18日）

<https://www.arabnews.com/node/2164956/saudi-arabia>

・WIPOとの提携による研修プログラムの修了式は、サウジ国内で知的財産の分野に専門家として従事する研修生たちの資格を認定する場となった（2022年9月19日）

<https://twitter.com/SAIPKSA/status/1571597617439678467>

<https://twitter.com/SAIPKSA/status/1571601163451256833>

・知的財産情報に関する2022年上半期の報告書が発行された（2022年9月21日）

<https://www.saip.gov.sa/en/news/1360/>

トルコ

・国際発明見本市（ISIF；INTERNATIONAL INVENTIONS FAIR）が開催され、12か国から270点の発明が出展された（2022年8月30日）

<https://twitter.com/TCSanayi/status/1564710762202992646>

・トルコ特許商標庁（TurkPatent）が第3回イスタンブール地理的表示サミットを開催。主催者となったのはトルコ地下鉄（Metro Turkey）およびトルコ商工会議所・商品取引所連合（Union of Chambers and Commodity Exchanges of Turkey）（2022年9月9日）

<https://twitter.com/CemilBASPINAR/status/1567905210055499781>

クウェート

・クウェートは模倣品販売店舗の押収事案に関する報告を継続中（2022年9月18日、2022年9月19日）

<https://twitter.com/mociq8/status/1564483656718192640>

<https://twitter.com/mociq8/status/1566656212594266112>

<https://moci.gov.kw/en/news/161/>

<https://twitter.com/mociq8/status/1570709056469495810>

<https://moci.gov.kw/en/news/163/>

カタール

・国際ブランドを装った模倣品を販売していた店舗の押収を経済省が敢行（2022年8月31日）

<https://twitter.com/MOCIQatar/status/1565019274841755648>

・経済省は先般、FIFA および「伝送と遺産の最高委員会」（Supreme Committee for Delivery & Legacy）の協力を得て、ワールドカップの知財保護に関する国家委員会のワークショップを開催した（2022年9月19日）

https://www.moci.gov.qa/en/mec_news/ministry-of-commerce-and-industry-organizes-workshop-for-judicial-officers-of-national-committee-for-intellectual-property-right-protection-during-fifa-world-cup-qatar-2022/

<https://twitter.com/MOCIQatar/status/1571898431618039809>

・カタール商工省（MOCIQATAR）は、商店や電子プラットフォーム上においてカタール国家の公式エンブレムを使用することは禁止されている旨を力説した（2022年9月22日）

<https://twitter.com/MOCIQatar/status/1572835186068398082>

GCC（湾岸協力会議）

・湾岸協力会議（GCC）の事務局は、専門家の力を借りて、知的財産権に関連した各種のオンライン教育プログラムを実施している（2022年8月29日、2022年8月30日、2022年8月31日）

<https://www.instagram.com/p/Ch1sRIuswYX/>

<https://www.instagram.com/p/Ch4TZ3Ns9qp/>

<https://www.instagram.com/p/Ch64SRrsEwz/>

<https://www.instagram.com/p/CiHohPfsolh/>

<https://www.instagram.com/p/CiKRiFvM6iv/>

・GCC 知的財産研修センターが、公開された特許審査報告書の活用法について協議（2022年9月5日、2022年9月6日）

<https://www.gcc-sg.org/ar-sa/MediaCenter/NewsCooperation/News/Pages/news2022-9-6-1.aspx>

<https://www.gcc-sg.org/ar-sa/MediaCenter/NewsCooperation/News/Pages/news2022-9-5-1.aspx>

・GCC 特許庁と SAIP は、2 者間レベルおよび広域レベルでの知財政策に関する連携と協調の強化と、GCC 特許庁に提出された特許出願の処理業務がもたらす有益な側面について協議した（2022年9月15日）

<https://www.gcc-sg.org/ar-sa/MediaCenter/NewsCooperation/News/Pages/news2022-9-15-5.aspx>

<https://twitter.com/RiyadhChamber/status/1567821808136486912>

中東全域

・持続可能な海水淡水化を維持するため、中東は技術革新に力を注ぐ必要がある（2022年9月11日）

<https://www.arabnews.com/node/2159681/business-economy>

[特許庁委託]

中東知的財産ニュースレター Vol. 67

[著者]

United Trademark & Patent Services [UTPS]



[発行]

日本貿易振興機構 ドバイ事務所



2022年10月発行 禁無断転載

本ニュースレターは、United Trademark & Patent Services が英語にて原文・日本語訳を作成し、JETRO ドバイ事務所がそのチェックと修正を施したものです。また、本ニュースレターは、作成の時点で入手している情報に基づくものであり、その後の法律改正等によって変わる場合があります。掲載した情報・コメントは著者及び当事務所の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものでないことを予めお断りします。なお、本ニュースレターの内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断りいたします。

また、JETRO は、ご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等の正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行なうようお願いいたします。本文を通じて皆様に提供した情報の利用により、不利益を被る事態が生じたとしても、JETRO はその責任を負いかねます。